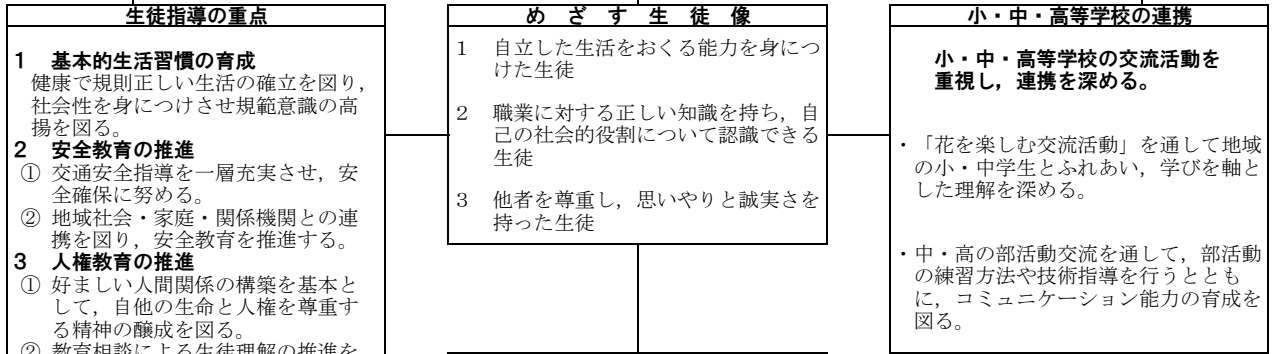
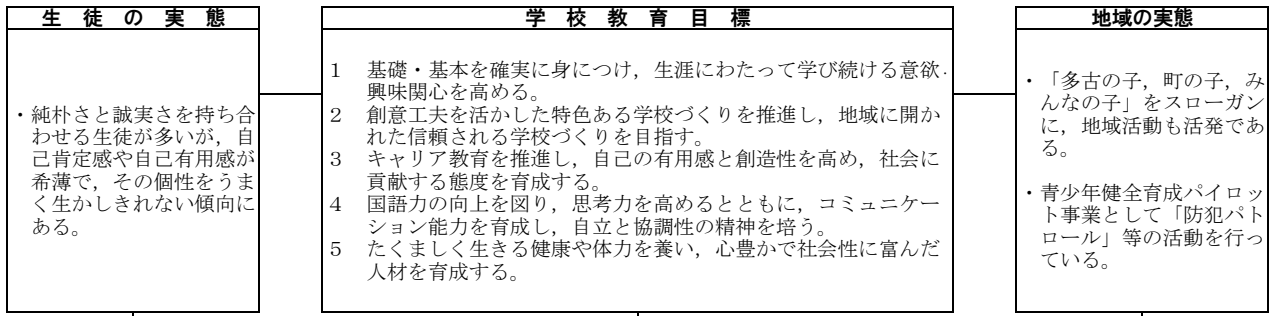


高等学校編

目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 全体計画 | 1 1 5 |
| 学習プログラム | 1 1 8 |
| 年間指導計画 | 1 1 9 |
| 指導事例 | |
| 1年 総合 企業見学報告会(プレゼンテーション) | 1 2 2 |
| 1年 総合 演劇ワークショップ | 1 2 6 |
| 2年 総合 インターンシップ報告会 | 1 2 8 |
| 2年 現代文 社会に生きる | 1 3 3 |
| 3年 体験活動 電車でGO ～私の未来はどこにある～ | 1 3 5 |
| 3年 情報科 非接触 I C 技術から学ぶユビキタス社会 | 1 4 0 |

千葉県立多古高等学校
キャリア教育全体計画



キャリア教育目標
「自己理解から自己肯定感と有用感の育成を目指して」

地域交流
 ・「国道花植栽」の地域ボランティアとの共同
 ・地域「イカダレース」の参加と協力

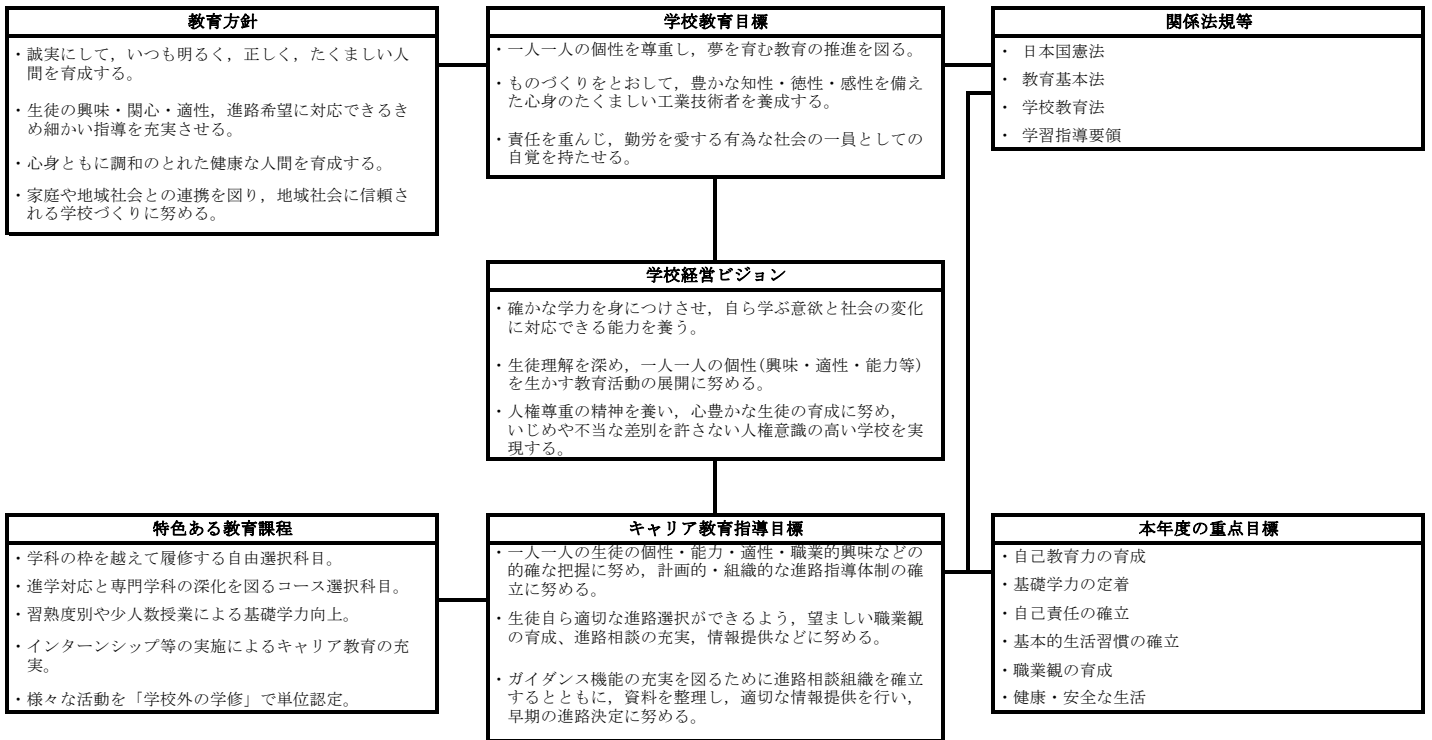
- 育てたいキャリア能力**
- 人間関係形成能力
 - 情報活用能力
 - 将来設計能力
 - 意思決定能力

研究主題
「人生を生き抜く勤労観・職業観の育成」
ーコミュニケーション能力の向上を通してー

【 大人とのふれあい 】

| 育てたい能力 【 「総合的な学習の時間」 「ロングホームルーム」 「特別活動」 「各教科・科目」の活動 】 | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 基礎学力の向上 | 職業理解 | 社会的知識の養成 | コミュニケーション能力の養成 | 意思決定能力・自己理解 |
| ・各教科・科目における「読み」「書き」の重視 ・「数学」「商業」「情報」科目における知識・技術の向上 ・「朝の読書活動」・「漢字テスト」の一層の充実 ・教科「国語」(古典)での読解力 | ・社会人とのシンポジウム ・若手教員と語る(パネルディスカッション) ・職場訪問(地域を知る) ・職業についての知識(教科：現代社会) ・インターンシップ ・専門学校実地体験 ・進路ガイダンス(進路講話) ・専門学校説明会 ・「企業」「大学」「専門学校」学校見学会 ・ビジネス体験プログラム(起業家教育) ・職業人によるパネルディスカッション | ・企業におけるマナーを知る ・悪徳商法を知る ・電車でGO ・年金理解 ・産業協力情報授業(ユビキタス社会) | ・あいさつ運動の実施 ・演劇ワークショップの実施 ・教科「国語」での表現についての学習 ・長期休業体験報告(プレゼンテーション) ・修学旅行学習 | ・進路決定シンポジウム ・クレペリン検査 ・職業適性検査 ・教科「国語」(国語表現)での自らのイメージ設定 |

千葉県立市川工業高等学校 キャリア教育全体計画



| 各学年の指導目標（主な活動、主な指導内容） | | |
|--|--|---|
| 第 1 学 年 | 第 2 学 年 | 第 3 学 年 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢や希望を考え、進路計画を立てさせる。 ・ 基本的な生活習慣を確立させる。 ・ 働く目的を考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の問題意識を掘り起こし、論理的思考を高める組織的指導體制の確立。 ・ 学力を高め、自己の適性を生かす進路計画を立てさせる。 ・ インターンシップの実施に向けて、立案・計画・準備を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路情報の収集と活用を図らせる。 ・ 企業や上級学校を選択させ、合格に向けての努力をさせる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路希望調査 ・ 進路ガイダンス ・ レディネステスト ・ 卒業生を囲む会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路希望調査 ・ 職業適性検査 ・ インターンシップ ・ 進路ガイダンス | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路希望調査 ・ 進路講話 ・ 進路ガイダンス ・ 面接、小論文指導 |

| 各教科や資格取得 | 特別活動 (ホームルーム活動、学校行事など) | 総合的な学習の時間及び学校外の学修 | その他の活動 |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある選択科目とコースの設定により生徒の興味・関心・目的に応じた学習を展開する。 ・ 資格取得の奨励・各種資格及び技能検定合格のための指導で、将来へのスキルアップを図る。 ・ 資格取得やボランティアなどの多様な課外活動を「増加単位」や「学校外の学修」で単位認定し、学習意欲の向上を図る。 ・ 習熟度別授業・少人数授業等の実施で、基礎学力の定着を図る。 ・ 進路指導の充実とキャリア教育を推進する。 | <p>1学期</p> <p>オリエンテーション、体力テスト、球技大会、生徒総会、HRづくり・校外学習、進路懇談会、中学生見学会・中学生電子工作教室、ものづくり教室</p> <p>2学期</p> <p>防災訓練、開放講座、修学旅行、中学生1日体験入学、文化祭、千工研総合技術コンクール、生徒会立会演説会</p> <p>3学期</p> <p>進路体験発表、進学模試、予餞会、インターンシップ報告会</p> | <p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年「課題研究」3単位による代替 <p>学校外の学修（学校設定科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の選択幅を拡大し、生徒の優れた能力を一層伸ばす <p>教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位の認定は、評価を行わず、単位の認定のみを行い、対応する教科科目がある場合は増加単位として扱う。 <p>「就業体験」、「大学等における学修」、「知識及び技能審査」、「ボランティア活動」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震診断活動 ・ ネパール王国技術ボランティア第4次隊派遣 ・ ネパール王国技術ボランティア活動 ・ 第2回若年者ものづくり競技大会出場 ・ 第6回高校生ものづくりコンテスト関東大会出場 ・ 国家検定3級技能士 ・ 「目指せスペシャリスト」研究指定校 |

| キャリア教育を推進するための基盤（指導上の留意事項） | | | | |
|----------------------------|-------------------------------------|-----------------------|---------------------|-----------------|
| 教員の研修の実施と共通理解の確立 | 推進組織の整備、指導體制の確立、関係する分掌（部や係）の協力体制の強化 | 個への対応、キャリア・カウンセリングの充実 | 中学校や大学・専門学校等との連携や交流 | 保護者、地域、関係機関との連携 |

千葉県立〇〇高等学校における職業観・勤労観を育む学習プログラム（例）

※これは「キャリア教育推進の手引き」（平成18年 文部科学省）の「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」のうち、高等学校に関わる部分を抜粋したものです。

| 職業的（進路）発達段階 | | 現実的探索・試行と社会的移行準備の時期 |
|---|---|---|
| 領域説明 | 職業的（進路）発達にかかわる諸能力 能力説明 | |
| <p>●職業的（進路）発達段階 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面から捉えたもの。</p> | | <ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 |
| <p>人間関係形成能力 他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。</p> | <p>自他の理解能力 ○自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力 コミュニケーション能力 ○多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力</p> | <ul style="list-style-type: none"> 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 他者の価値観や個性のコミュニケーションを理解し、それを受け入れる。 互いに支え合い分かり合える友人を得る。 自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意志等を的確に理解する。 異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。 リーダー・フォロアシップを發揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 新しい環境や人間関係を生かす。 |
| <p>情報活用能力 学ぶこと、働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。</p> | <p>情報収集・探索能力 ○進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力</p> <p>職業理解能力 ○様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力</p> | <ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的、多角的に情報を集め検討する。 就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を探索する。 職業生活における権利・義務や責任および職業に就く手続き・方法などが分かる。 調べたことなどを自分の考えを交え、各種メディアを通して発表・発信する。 就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。 社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し、習得する。 多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 |
| <p>将来設計能力 夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。</p> | <p>役割把握・認識能力 ○生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力</p> <p>計画実行能力 ○目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力</p> | <ul style="list-style-type: none"> 学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。 将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。 職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む。 |
| <p>意思決定能力 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での葛藤や葛藤に積極的に取り組み克服する。</p> | <p>選択能力 ○様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力</p> <p>課題解決能力 ○意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力</p> | <ul style="list-style-type: none"> 選択の基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観を持つ。 多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。 進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。 選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす。 将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む。 自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討する。 理想と現実との葛藤経験等を通して、様々な困難を克服するスキルを身につける。 |

千葉県立多古高等学校キャリア教育年間計画

第1学年

| 月 | 総合的な学習の時間 | ロングホームルーム | 教科・科目 | 特別活動 |
|----|----------------|-----------|--|------------------------|
| 4 | オリエンテーション | 進路適性検査 | ・国語「国語総合」 ・表現力の育成 ・数学「数学Ⅰ」 ・「現代社会」 (現代の職業について) | ・あいさつ運動 ・朝の読書活動 |
| 5 | 多古町探訪・清掃ボランティア | | | ・漢字テスト ・英語単語 テスト |
| | 進路ガイダンス・進路講話 | | | |
| | キャリア教育の日 | 進路希望調査 | | |
| 6 | 専門学校実施体験説明会 | 豊かな心をはぐくむ | | |
| 7 | 専門学校実地体験 | | | |
| 9 | 若手教員と語る | 豊かな心をはぐくむ | | |
| | 夏休み体験報告会 | | | |
| 10 | 進路ガイダンス・コース説明会 | | | |
| 11 | 演劇ワークショップ | 豊かな心をはぐくむ | | |
| 2 | 企業におけるマナーを知る | | | |

第2学年

| 月 | 総合的な学習の時間 | ロングホームルーム | 教科・科目 | 特別活動 |
|----|-----------------|-----------|--|------------------------------|
| 4 | オリエンテーション・テーマ発表 | | ・国語「古典」 ・数学「数学Ⅱ」 ・地歴公民 「千葉と沖縄 の比較」 | ・あいさつ運動 ・朝の読書活動 ・漢字テスト |
| 5 | インターンシップ準備 | | | ・英語単語 テスト |
| | キャリア教育の日 | | | |
| 6 | インターンシップ準備 | 豊かな心をはぐくむ | | |
| 7 | インターンシップ実施 | | | ・インターン シップ |
| 8 | | | | |
| 9 | インターンシップまとめ | | | |
| | インターンシップ発表 | | | |
| 10 | 進路ガイダンス | | | |
| | 企業におけるマナーを知る | 進路希望調査 | | |
| 11 | 進路決定シンポジウム | 豊かな心をはぐくむ | | |
| | 社会人とのシンポジウム | | | |
| 12 | 修学旅行報告プレゼンテーション | | | |
| 1 | 悪徳商法を知る | 豊かな心をはぐくむ | | |
| 3 | 企業・大学・専門学校見学会 | | | |

第3学年

| 月 | 総合的な学習の時間 | ロングホームルーム | 教科・科目 | 特別活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|-----------|---|---|--|--|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | オリエンテーション・進路講話 | クレペリン検査 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語「国語表現」 ・小論文講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | キャリア教育の日 進路ガイダンス・進路適性検査 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分野別進路ガイダンス | 豊かな心をはぐくむ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 職業人によるパネルディスカッション | 就職説明会 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・英語単語テスト ・就職模試 ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・英語単語テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 一般常識テスト | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語単語テスト | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分野別進路ガイダンス夏休み直前対策会 | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語単語テスト | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 実践練習① | 豊かな心をはぐくむ | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | | | | | | | | | | | |
| | 実践練習② | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | | | | | | | | | |
| 10 | 実践練習③ | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | | | | | | | |
| | 年金理解 | | | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | | | | | |
| 11 | 悪徳商法を知る | | | | | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | | | |
| 12 | 進路決定シンポジウム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | | |
| 1 | 社会人としての心得（講話） | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 | |
| 2 | まとめ（レポート作成） | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小論文テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・就職模試 |

千葉県立〇〇高等学校 キャリア教育年間指導計画（例）

| | | 第1学年 | | 第2学年 | | 第3学年 | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------|--|-------------------------------|--|---------------------------|--|
| テーマ | | 自己の能力と適性を理解する | | 職業観・勤労観の育成を図る | | 進路の実現を図る | |
| 主 題 ね らい | 学習活動や様々な進路情報を通して自己理解を深める | スクールインタビューシップを中心として将来設計を図る | | スクールインタビューシップを中心として将来設計を図る | | 自分の適性・能力にあった進路の選択と準備 | |
| | 様々な情報を収集して進路選択の幅を広げる | 様々な情報を収集して進路選択の幅を広げる | | 進路実現に向けて、今ある自分のなすべきことを明確化する | | 自己実現のために具体的な目標を定め、実行する | |
| 学 期 | 月 | 内容 | | 内容 | | 内容 | |
| 1 | 4 | オリエンテーション（キャリア教育について） | | オリエンテーション | | オリエンテーション | |
| | 5 | 自己理解・他者理解1 | | 働くことの意義（職業の三要素についてアンケート調査） | | 進路希望調査の実施 | |
| | 6 | 進路適性検査 | | 働くことの意義（職業の三要素についてグループ討論） | | 進路別研究1（進：学部学科研究 就：業種職種研究） | |
| | | 進路希望調査を通して将来の自分を考える | | インタビューシップ事前指導1（第1次希望調査） | | 進路別研究2（進：学部学科研究 就：業種職種研究） | |
| | 7 | 進路講話「人はなんのために働くのか」 | | インタビューシップ事前指導2（第2次希望調査） | | 進路別研究3（進：論文指導 就：履歴書作成） | |
| | 8 | 職業インタビュー（身近な職業人にインタビューしよう） | | インタビューシップ事前指導3（電話応対・挨拶指導） | | 進：オープンキャンパス 就：企業見学会事前指導 | |
| | 9 | 自分の適性を知る（進路適性検査の結果から） | | インタビューシップ事前指導4（実習日誌・報告書指導） | | 進路講話（これからの受験準備について） | |
| 2 | | マナー教室1 | | インタビューシップ事前指導5（直前指導ー時間・緊急連絡等） | | 進路別研究4（進：面接指導 就：礼法指導） | |
| | | 社会人講話1「私と職業選択ー私が今の職業を選んだ理由」 | | インタビューシップ | | 進路別研究5（進：面接指導 就：礼法指導） | |
| | | 自己理解・他者理解2 | | インタビューシップ事後指導1（礼状・報告書作成） | | 進路別対策講座（進：小論文対策 就：面接対策） | |
| | 10 | 進路懇談会へ向けて（アンケート調査） | | インタビューシップ事後指導2（報告会） | | 教養講座（文化講演会） | |
| | | 進路懇談会 | | 進路ガイダンス事前準備（アンケート調査） | | 進路別対策講座（進：受験対策 就：一般常識） | |
| 3 | | 職業研究（様々な職業について理解を深める） | | 進路ガイダンス（分野別講演会） | | 進路別対策講座（進：受験対策 就：一般常識） | |
| | | 職業研究（様々な職業について理解を深める） | | 修学旅行班別体験学習準備 | | 進路別対策講座（進：受験対策 就：一般常識） | |
| | 11 | マナー教室2 | | 修学旅行班別体験学習発表会 | | 進路別対策講座（進：受験対策 就：一般常識） | |
| | | 進路ガイダンス（進路についての総合的なガイダンス） | | 社会人講話2「私と職業選択ー私が今の職業を選んだ理由」 | | 進路別対策講座（進：受験対策 就：一般常識） | |
| | | 上級学校研究（様々な学校について理解を深める） | | 進路相談1（担任との個別相談を通して進路を絞り込む） | | 進路相談（進：受験先決定 就：未決定者） | |
| | | 上級学校研究（様々な学校について理解を深める） | | 進路相談2（担任との個別相談を通して進路を絞り込む） | | 進路相談（進：受験先決定 就：未決定者） | |
| | | 第2学期を終えて（学習活動と進路について） | | 第2学期を終えて（学習活動と進路について） | | 進路相談（進：受験先決定 就：未決定者） | |
| | 1 | NIEガイダンス（新聞記事から情報収集を得る手段） | | 進路サクセスプランの作成1（1年後の進路実現を目指す） | | 社会人・学生としての心構え | |
| | | NIE研究（新聞の社説から課題を研究してみよう） | | 進路サクセスプランの作成2（1年後の進路実現を目指す） | | 3年間のキャリア教育のまとめ | |
| | 2 | NIE発表会 | | 進路サクセスプランの作成3（具体的な計画の立案） | | | |
| | | まとめ（この1年の反省と評価ーポートフォリオ作成） | | まとめ（この1年の反省と評価ーポートフォリオ作成） | | | |

高校 1 年 総合的な学習の時間学習指導案

1. 単元名 企業見学報告会（プレゼンテーション）

2. 単元について

キャリア教育の一環として、第1学年の5月という早い時期に学校近隣の企業を訪問させ、生徒一人ひとりにおけるキャリア形成の意識を高めた。そこでの目標は、自分の意思と判断によって進路を切り拓いていく大切なスタートとして、情報の収集及びその活用能力の向上を図り、将来のかけがえのない仕事を見つける啓発的経験の一助とするというものであった。具体的には、企業の施設・設備や雰囲気等を見学し、必要とされる資格・技能・資質等について学んだ。

本単元では、企業見学の体験をもとに、各クラスの代表者によるプレゼンテーションを通して、体験や反省を共有しあうことでキャリア発達を促進させる機会とする。

3. 単元のねらい

企業見学の報告会を行うことにより、おのおのが自身の活動をとおして、自己の個性を理解し、進路について主体的に考える態度を養うとともに、自分の考えや情報を伝える能力、他者の考えを理解し情報を活用する能力の向上を図る。また、中学校で経験した職場体験と高校の第2学年で行う予定であるインターンシップとの継続性をもたせ、生徒の発達段階に応じたアプローチによりキャリア教育をより充実したものとする。

- ・発表者は、話し方を工夫し内容を正確に伝える。
- ・聞き手は、話の内容を正確に捉え、記録する。
- ・企業見学を振り返り、進路選択の一助とする。
- ・質疑応答や議論をとおしてコミュニケーション能力を高める。
- ・やらされているという意識は捨てる。

4. 指導計画

| (過程) | 主な活動内容 | 育成が期待できる能力 | | | |
|------|---------------------------------|------------|------|------|------|
| | | 人間関係形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | ・自分の考えや体験を整理し、効果的に伝える準備をする。 | | ◎ | | ○ |
| 本時 | ・プレゼンテーションの趣旨を理解する。 | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| 事後 | ・アンケートによる自己評価 ・企業見学で学んだことの総括 | ○ | | ○ | ◎ |

5. 本時の指導（2／3）

（1）本時のねらい

企業見学の報告会を通して、自らの進路について主体的に考える態度を養う。

（2）展開

| 過程 | 時配 | 学習内容と活動 | 指導上の留意点と評価 | 資料 |
|-----|-----|--|---|--|
| 導入 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 今回のプレゼンテーションの趣旨を理解する。 司会者の選出 発表者の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> 企業見学報告会を行う意義を再確認させる。 <p style="text-align: right;">【意思決定能力】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート配布 |
| 展開 | 40分 | <ul style="list-style-type: none"> 各クラスの代表者による発表 ① 1 A ○ ○ 園芸 ② 1 A △ △ 洋ラン ③ 1 B □ □ フーズ ④ 1 B ● ● テック ⑤ 1 C ▲ ▲ 乳業 ⑥ 1 C ▲ ▲ 乳業 ⑦ 1 D ■ ■ 電子 ⑧ 1 D ■ ■ 電子 聞き手は、要点・疑問点の記録及び感想シートの記入 質疑応答・議論 発表者への賞賛 | <ul style="list-style-type: none"> 発表が円滑に進行するよう指導・助言する。 〔発表者〕 発表の内容や技術も大切だが、伝えようという気持ち（多少のミスはカバーできる）。 発表の準備と工夫、内容と方法、聞き手とのやりとり。 <p style="text-align: right;">【人間関係形成能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔聞き手〕 意欲的な参加態度 適切な記録 活発な議論 <p style="text-align: right;">【人間関係形成能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業見学を振り返り、体験や反省を共有しあう。 <p style="text-align: right;">【情報活用能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝えようとした時、相手の意見を理解しようとする時、個性が影響することを知る。 <p style="text-align: right;">【意思決定能力】</p> | |
| まとめ | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる自己評価 企業見学で学んだことのまとめ | <ul style="list-style-type: none"> 誰の人生でもなく自分の人生であることを自覚させる。 <p style="text-align: right;">【将来設計能力】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート提出 |

千葉県立多古高等学校

企業見学報告会ワークシート (A面)

() 組 () 番 氏名 ()

〔感想〕

| | | | |
|-------------------------|----------------|--|--|
| ①発表者 1年()組 氏名() 企業() | | | |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| ii 内容がわかりやすかったか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iii 発表に工夫が見られたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iv 質問に適切に答えられたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| 〔要 点〕 | | | |
| 〔疑問点〕 | | | |
| ②発表者 1年()組 氏名() 企業() | | | |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| ii 内容がわかりやすかったか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iii 発表に工夫が見られたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iv 質問に適切に答えられたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| 〔要 点〕 | | | |
| 〔疑問点〕 | | | |
| ③発表者 1年()組 氏名() 企業() | | | |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| ii 内容がわかりやすかったか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iii 発表に工夫が見られたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iv 質問に適切に答えられたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| 〔要 点〕 | | | |
| 〔疑問点〕 | | | |
| ④発表者 1年()組 氏名() 企業() | | | |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| ii 内容がわかりやすかったか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iii 発表に工夫が見られたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iv 質問に適切に答えられたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| 〔要 点〕 | | | |
| 〔疑問点〕 | | | |
| ⑤発表者 1年()組 氏名() 企業() | | | |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| ii 内容がわかりやすかったか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iii 発表に工夫が見られたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| iv 質問に適切に答えられたか | (はい ぶつう いいえ) | | |
| 〔要 点〕 | | | |
| 〔疑問点〕 | | | |

企業見学報告会ワークシート（B面）

（ ）組（ ）番 氏名（ ）

〔感想〕

| | |
|-------------------|----------------|
| ⑥発表者 1年（ ）組 氏名（ ） | 企業（ ） |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| ii 内容がわかりやすかったか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iii 発表に工夫が見られたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iv 質問に適切に答えられたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| 〔要 点〕 | |
| | |
| 〔疑問点〕 | |
| | |
| ⑦発表者 1年（ ）組 氏名（ ） | 企業（ ） |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| ii 内容がわかりやすかったか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iii 発表に工夫が見られたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iv 質問に適切に答えられたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| 〔要 点〕 | |
| | |
| 〔疑問点〕 | |
| | |
| ⑧発表者 1年（ ）組 氏名（ ） | 企業（ ） |
| i 伝えようという気持ちを感じたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| ii 内容がわかりやすかったか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iii 発表に工夫が見られたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iv 質問に適切に答えられたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| 〔要 点〕 | |
| | |
| 〔疑問点〕 | |
| | |

〔自己評価〕

| | |
|---------------------|----------------|
| i 積極的に参加することができたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| ii 話の要点を記録できたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iii 内容を理解することができたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| iv 疑問点を適切に質問できたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| v 議論に参加することができたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| vi お互いの個性を認識できたか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| vii 進路を考えるきっかけになったか | （ はい ぶつう いいえ ） |
| 〔感想〕 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

1. 単元名 演劇ワークショップ

2. 単元について

集団でのゲームや二人での動き等，身体を使って遊びながら共に見て，聞いて，感じながら，人と一緒に何かを創ることの楽しさ，難しさを体験する。人と何かを創る為に，まず自分が自分自身に対して，また相手に対して偏見を捨て，人と人との間に何かを生み出そうとする，演劇の手法を取り入れたコミュニケーション・ワークショップである。

3. 単元のねらい

- ・キャリア教育において育みたい能力のうちの，主に人間関係形成能力（他者理解能力・コミュニケーション能力）の向上を図る。
- ・自分と相手との「ズレ」を認識し，自分と相手の違いを認識し，相手を理解しようとする姿勢を身につけさせる。
- ・伝達することの難しさと楽しさを認識させる。
- ・様々な情報伝達が「変化してしまう」ことや「失敗」こそが，笑いや和やかな雰囲気醸成に寄与するのだということ，さらにはそういう「変化・失敗」を受け入れていく人間関係こそが大切なのだということを理解させる。
- ・相手との間合いや相手の意図を察知し，それに沿った行動を取れるようにする。

4. 指導計画

| (過程) | 主な活動内容 | 時配 | 育成が期待できる能力 | | | |
|------|-----------------|----|------------|------|------|------|
| | | | 人間関係形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | ワークショップの意味と概要説明 | 1 | | ○ | | |
| 本時 | 演劇ワークショップの実施 | 2 | ◎ | ○ | | ○ |
| 事後 | 事後アンケートの実施 | 1 | | | ○ | ○ |

3. 本時の指導（2, 3 / 4）

（1）本時のねらい

相手のことを考えた行動をすることで、相手を理解しようとする態度を育てる。

（2）展開

| 段階 | 時配 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 | |
|-----|------|--|---|--|--|
| 導入 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ワークショップの意味とその概略説明。 起立・着席の俊敏動作。 | <ul style="list-style-type: none"> 説明を聞き、ワークショップの概略を知る。 拍手の合図により、機敏に起立・着席をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 合図により、すばやく行動する。 <p>【情報活用能力】</p> | |
| 展開 | 100分 | <ul style="list-style-type: none"> 握手をして、その握手の回数のずれを楽しむ。 手を叩くゲームにうまく対応する。 協力しながら、お互いに素早く並び替えをする。 お互いの力を利用して立ったり座ったりする。 伝言ゲーム。 | <ul style="list-style-type: none"> お互いに回数を決めて握手をする。 数字を言いながら3と5の倍数のときに拍手でおきかえる。 生年月日順に並び替える 名前順に並び替える。 背中合わせになり、お互いに座ったり、立ったりする。 ある言葉を動作で伝えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ずれの感覚を楽しむ。 ゲームに集中し、規則に素早く順応する。 真剣に速く自分のことを伝え、相手のこともしっかり聞いて行動する。 お互いに遠慮をしないで背中に壁を作ることを意識しながら行う。 お互いに失敗を認めあう。 <p>【人間関係形成能力】</p> | |
| | | 〔休憩〕 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 暗号を見つけ適切な行動をとる。 ブラインドウォークを実感する。 相手との間合いや意図を受け止めて行動する。 | <ul style="list-style-type: none"> 指示の中から暗号を見つける。 二人組で一人の人が目を閉じてもう一人の人が運転士役となり、自由に歩く。 竹の棒を二人ではさんで自由に歩く。 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉の違いを聞き取る。 目を閉じている相手に対して優しい気持ちで誘導する。 相手のことを考えながらそれに沿った行動をするようにする。 <p>【人間関係形成能力】</p> | |
| まとめ | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ワークショップのおもしろさを感じる。 ワークショップを通じてコミュニケーションの難しさと楽しさを認識する。 アンケートによる自己評価の予告。 | <ul style="list-style-type: none"> おもしろかった種目に手を挙げさせる。 ワークショップの意義について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 心と体を使って積極的に参加できたかをとらえさせる。 <p>【意思決定能力】</p> | |

千葉県立多古高等学校

高校2年 総合的な学習の時間学習指導案

1. 単元名 インターンシップ報告会

2. 単元について

本校では総合的な学習の時間を主としてキャリア教育の充実に当てている。生徒は1年次より進路に関する意識付け、人間関係形成能力の向上に重点を置いて学習してきた。

本年度は1学期中に学年集会等での意見発表練習を、夏季休業中に5日間のインターンシップを実施した。

今回はその体験を発表するプレゼンテーション活動をとおして、コミュニケーション能力の向上を図りたい。また、インターンシップでの苦勞、反省、失敗を積極的に語り、前向きに分析、共有することで将来の進路選択をより確実なものとし、就業した際直面する困難な場面を自ら力強く乗り越えられる人間力、社会に貢献できる力を身につけさせたい。

3. 単元のねらい

- ・グループで協力し、それぞれの特性を生かして発表準備、プレゼンテーションを行う。
- ・聞き手を引きつける話し方を工夫し、情報を正確に伝える。
- ・インターンシップを振り返り、反省や失敗をこれからの進路選択に生かす。
- ・友人達の話聞き、必要な情報をメモして内容を正確に捉え、自分の体験と比較する。
- ・質疑や議論を通して発表に深く関わり、コミュニケーション能力を高める。

4. 指導計画

| | 主な活動内容 | 時間 配分 | 育成が期待できる能力 | | | |
|----|------------------|----------|------------|------|------|------|
| | | | 人間関係 形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | インターンシップ（5日間） | / | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | インターンシップ報告会準備 | 4 | ◎ | ○ | | ○ |
| 本時 | インターンシップ報告会 | 1 | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| 事後 | 報告会后アンケート調査 | 1 | | | ○ | ○ |
| | インターンシップ報告会反省・総括 | 1 | | ○ | ○ | ○ |

5. 本時の指導（5／7）

（1）本時のねらい

- ・自分達の体験、考えを整理し、効果的に伝えるための準備、検討ができたか。
- ・聞き手の反応を受け止め、効果的に伝えることができたか。
- ・質問に的確に答えられたか。

・要点を捉えてメモをとり，発表の内容が正確に把握できたか。

(2)展開

| 過程 | 学習内容と活動 | 指導上の留意点と評価 | 資料 |
|--|---|---|--|
| <p>導入 (5)</p> <p>展開 (35)</p> <p>まとめ (10)</p> | <p>○本時の流れ，学習ポイントの確認</p> <p>○アンケート結果の再確認</p> <p>○本時の課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく，興味深い，効果的な発表をする。 ・ 質疑等を円滑に進め，話題を深める。 ・ 積極的に参加する。 <p>○発表</p> <p><グループ1></p> <p>－航空貨物関係－ (男子2名，女子2名)</p> <p><グループ2></p> <p>－ホテル関係－ (男子2名，女子2名)</p> <p><グループ3></p> <p>－飲食店関係－ (男子4名)</p> <p>○まとめ</p> <p>インターンシップから学んだことの確認，発表者への賞賛を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者／発表についての反省をグループ単位で行う。 ・ 聞き手／事後アンケートに答える。 | <p>・ アンケート結果の再確認により，各自のインターンシップでの活動を振り返り，感想，反省などを共有化する。</p> <p>・ 指導者は円滑に発表が進行するよう指導，助言する。</p> <p>*グループ内の協力，準備と工夫，発表内容と方法，聞き手とのやりとり（発表者） [人間関係形成能力，情報活用能力]</p> <p>*意欲的，積極的な参加態度（聞き手） [人間関係形成能力，情報活用能力]</p> | <p>事前アンケートの集計結果</p> <p>各グループで用意</p> <p>自己評価カード 事後アンケート</p> |

千葉県立多古高等学校

夏の暑さもすっかり遠のき、秋の風が非常に心地よくなりました。猛暑の中行ったインターンシップが終わり、はや1ヶ月。つい昨日のことに感じる人、遙か昔に感じる人、あなたはどちらでしょうか。

さて、11月2日には今回の体験を代表者が本校や中学校で発表し、多くの参観者が見えます。この授業を充実させるため、じっくり思い出し、面倒がらずにしっかり答えてください。

1 インターンシップの感想は。(○で囲む)

- ① 非常に楽しく ② けっこう ③ どちらかといえば ④ 非常につらく
 充実した 楽しかった 大変だった 苦しかった

2 インターンシップは将来のためになった。役立った。(○で囲む)

- ①非常にそう思う。 ②そう思う。 ③そう思わない。 ④まったくそう思わない。

3 インターンシップで楽しかったこと、充実したことを書いてください。

4 つらかった、いやな思いをした、不愉快だった、我慢したことを書いてください。

5 インターンシップで学んだこと、ためになったことを書いてください。

6 今回行った企業に就職したいですか。

- はい 何とも言えない いいえ

7 インターンシップの行い方を改善するとしたら。(時期, 方法, 期間, その他)

組 番/氏名

| グループ 1 | | 大変よい よい 今ひとつ 悪い |
|--------|-------------------------|--|
| 1 | 発表の準備，協力，役割分担はどうでしたか。 | ----- ----- ----- |
| 2 | 発表に興味，感動，たのしさを感しましたか。 | ----- ----- ----- |
| 3 | 内容がよくわかる発表でしたか。 | ----- ----- ----- |
| 4 | 今日の活動に積極的に参加できましたか。 | ----- ----- ----- |
| 5 | 発表で一番印象に残ったことをまとめてください。 | <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> |
| グループ 2 | | 大変よい よい 今ひとつ 悪い |
| 1 | 発表の準備，協力，役割分担はどうでしたか。 | ----- ----- ----- |
| 2 | 発表に興味，感動，たのしさを感しましたか。 | ----- ----- ----- |
| 3 | 内容がよくわかる発表でしたか。 | ----- ----- ----- |
| 4 | 今日の活動に積極的に参加できましたか。 | ----- ----- ----- |
| 5 | 発表で一番印象に残ったことをまとめてください。 | <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> |
| グループ 3 | | 大変よい よい 今ひとつ 悪い |
| 1 | 発表の準備，協力，役割分担はどうでしたか。 | ----- ----- ----- |

2 発表に興味, 感動, たのしさを感じましたか。

|-----|-----|-----|

3 内容がよくわかる発表でしたか。

|-----|-----|-----|

4 今日の活動に積極的に参加できましたか。

|-----|-----|-----|

5 発表で一番印象に残ったことをまとめてください。

キャリア教育プレゼンテーション学習 アンケート：B

月 日

組 番/氏名

事業所

大変よい よい 今ひとつ 悪い

1 発表の準備は協力してできましたか。

|-----|-----|-----|

2 役割分担はうまく行きましたか。

|-----|-----|-----|

3 聞き手が興味を持って発表を聞きましたか。

|-----|-----|-----|

4 内容がよくわかる発表になりましたか。

|-----|-----|-----|

5 今回の発表で, 積極的に活動しましたか。

|-----|-----|-----|

6 発表までの準備で印象に残っていることをまとめなさい。

7 今日の発表で印象に残っていることをまとめなさい。

千葉県立多古高等学校

高校2年 現代文学習指導案

1. 単元名 「社会に生きる」

2. 単元について

「働くということ」では同じ職場に働く者同士の連帯感が、また「鉄を削る」では1人の熟練工の技の力が語られ、両者の主旨は「働くことの誇りと喜び」という言葉でまとめることができる。キャリア教育の目的が、正しい職業観・勤労観を身につけた上で自分にふさわしい仕事に就き、もって人生を充実させることにあるならば、ここに登場する人々はまさに理想の職業人であり、職業を中心に据えた上で将来の生き方を考えなければならない高校生にとって、格好の指針を示してくれる教材である。

また、この夏、2年生全員が5日間のインターンシップに取り組んだが、その体験が二つの文章をより深く理解するために役立つものとする。

3. 単元のねらい

- (1) 実際に社会の中で働いた経験に基づいて書かれた文章を読むことによって、社会と個人、労働と生きがいの結びつきのあり方等を考えさせる。
- (2) 二つの作品に描かれた職場の様子や人々の職業意識に基づいて生徒自身のインターンシップの取り組みを振り返らせ、改めて自分にとってのインターンシップの意義について考えさせる。
- (3) 筆者の考えや登場人物の言動等などが的確に把握できるよう、文章を丹念に読み進める姿勢を身につけさせる。

4. 指導計画(6時間扱い)

| | 主な活動内容 | 時間 配分 | 育成が期待できる能力 | | | |
|----|-----------------|----------|------------|------|------|------|
| | | | 人間関係形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | 「働くということ」本文読解 | 2 | | ○ | ○ | |
| | 「鉄を削る」本文読解 | 1 | | ○ | ○ | |
| 本時 | 「鉄を削る」まとめ | 1 | | ○ | ◎ | ○ |
| 事後 | 二つの教材の主旨と共通点・作文 | 1 | | ○ | ○ | ○ |
| | 前時の作文の発表 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |

5. 本時の指導(4/6)

(1) 本時のねらい

- ・第3段の登場人物の心理と言動を丹念にたどり、主旨を的確に読解する。
- ・第3段の中の挿話の意味を考える。
- ・「鉄を削る」全体の主旨を把握する。

(2)展開

| 段 階 | 学習内容 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 | 評価の観点と評価方法 |
|--------------|-----------------------------|------------------------------------|--|--|
| 導 入 (5分) | ①前時の確認 | 第1段, 第2段の要旨を確認する。 | 各自ノートで確認させた後, 要旨を発表させる。 | 前時の学習内容を想起し, 本時の学習に取り組む姿勢ができているか。 【発言・観察】 |
| 展 開 (40分) | ①本文の音読 | 指名された者が音読する。 | 音読の際, 読み方を確認させる。 | 適切な音声で正確に音読できているか。聴く態度ができていないか。 【観察】 |
| | ②形式段落ごとの内容把握 | 形式段落ごとに内容を把握し, 発表する。 | 読解の基本が, 形式段落ごとの把握にあることを理解させる。 | 級友の発表をよく聴いているか。 【発言・観察】 [情報活用能力] |
| | ③第3段落全体の主旨の把握 | この段の主旨を考え, 発表する。 | 各自が自分の言葉で考えるよう助言する。 生徒の発表をもとに, 修正を施したものを板書する。 | 自分なりの答えを書いているか。 【観察】 主人公の職業に対する姿勢を理解したうえで, 自分の将来に結び付けて考えることができているか。 [将来設計能力] 級友の発表をよく聴いているか。 【観察】 |
| | ④文章全体の主旨の把握 | 第3段の挿話の意味を考えた上で, 「鉄を削る」全体の主旨をまとめる。 | 各自が自分の言葉で考えるよう助言する。 生徒の発表をもとに, 修正を施したものを板書する。 | 自分なりの答えを書いているか。 【観察】 級友の発表をよく聴いているか。 【観察】 |
| まとめ (5分) | ①本時の学習のまとめを行う。 ②次回の予告をする | 黒板を見て, 授業の内容を振り返る。 | 板書事項を指導者が読み上げながらこの時間の内容を確認する。 | 指導者の説明を集中して聞いているか。 【観察】 |

千葉県立多古高等学校

高校3年 キャリア教育の日 校外活動学習指導案

1 単元名 「電車でGO」 ～私の未来はどこにある～

2 単元について

多くの生徒が地元のみを生活の場とし、自力で電車等を利用して出て行く機会が極めて少ない。昨年度の3年生は、そのために就職・進学等において指定場所へ出向く際に、重大な支障をきたす場面が多々見られた。「自分で調べる・わからないことは尋ねる・実際に体験する」ことにより、実践的な生活の場面における「生きる力の育成」を図り、実践的な「キャリア教育」の一環としたい。

3 単元のねらい

【情報収集・探索】目的地までのルートを自分で調べ活用する。

【コミュニケーション】目的地までのルートに迷った場合や、実際の体験でわからないことを人に尋ねることにより、コミュニケーション能力の育成を図る。

4 指導計画（11時間扱い）

| (過程) | 主な活動内容 | 時配 | | | | |
|------|-----------------------------|-----------|--------|------|------|------|
| | | | 人間関係形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | ・学年集会（趣旨説明） | 1 | | ◎ | | |
| | ・グループ編成 ・設定目標地点及び指定時間の提示 | 1 | ○ | ◎ | | |
| | ・行動計画の作成及びルート探索 | 2 | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 本時 | 「電車でGO」の実施 | 6 (1日) | ○ | ◎ | | ○ |
| 事後 | 事前準備から実際までの反省・総括 アンケート調査 | 1 | | ◎ | | ○ |

5 本時の指導（5～10 / 11）

(1) 本時のねらい

あらかじめ調べて得た情報や、他者から聞き取り得た情報を生かして、目的地へ到達することができる。

(2) 展開

| 過程 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|----|---------|---|-------------------------------------|
| 導入 | ・グループ集合 | ・グループ毎に集合し、本日の行動計画の確認を行うとともに、HR担任に出発連絡の電話をする。 | ・HR担任は、生徒の健康に十分留意させ、事故のないよう注意伝達を行う。 |

| 過程 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-----|---|---|--|
| 展開 | ・ 目的地(1)へ出発 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定時間までに目的地を目指す。 《目的地》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早稲田大学大隈講堂 ・ 羽田空港 ・ 銀座鳩居堂前 ・ 浅草寺雷門 ・ 江戸東京博物館前 ・ 泉岳寺 ・ 東京大学 ・ 上野 | <ul style="list-style-type: none"> ・ JR や地下鉄で乗り間違えや乗り過ごし等で迷ったときに、人に尋ねることや他者の力を借りて目的を達成することの重要性を知る。 【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 |
| | ・ 目的地(1)に到着 「中間チェック」 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地に到着後、職員のチェックを受ける。 ・ 現在までの行動の詳細を、職員に口頭で報告する。 ・ 行動の反省と今後の行動計画のチェックを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画と本時の行動が一致していたかの確認をする。 ・ 行動計画の再チェックを班員にさせ、今後の行動に生かせるよう指導する。 ・ 生徒の健康観察を行う。 |
| | ・ 目的地(2)へ出発 「指令書の確認」 ・ 帰りのチェックポイントへ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員から「指令書」を受け取り、その指令書の指定場所へ向かう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉駅(中央コンコース)で 14:30～15:30 の間に、最終チェックを受ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指令書に記入されている場所について、一切の情報も与えないようにする。 ・ 聞き取り調査(尋ねる)を中心に目的地到着を目指させる。 【人間関係形成能力】 【情報活用能力】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年職員、生徒指導部長全員でチェックを行う。 ・ 生徒の健康観察 ・ 帰宅までの諸注意をする。 |
| まとめ | 帰宅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 総武本線 15:42 成田線 15:49 で帰宅する。到着後、HR 担任へ連絡する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員の帰宅を把握する。 ・ HR 生徒の帰宅を確認後、学年主任に連絡する。 |

千葉県立多古高等学校

電車でGO! 指定場所詳細&指定時間一覧

- 早稲田大学大隈講堂前
[場所] 行けばわかる
[時間] 11:00
- 羽田空港
[場所] 羽田空港第2ビル(ANA)側 「東京食賓館」前
[時間] 11:00
- 銀座鳩居堂前
[場所] 行けばわかる
[時間] 11:00
- 浅草寺雷門
[場所] 行けばわかる
[時間] 11:00
- 泉岳寺
[場所] 泉岳寺門前
[時間] 11:00
- 上野
[場所] 西郷隆盛銅像前
[時間] 11:00
- 江戸東京博物館前
[場所] チケット売り場
[時間] 11:00
- 東京大学赤門前
[場所] くれぐれも「赤門」である
[時間] 11:00

指令書

- 「キョロスク」へ行き、巨大なキョロちゃんの写真を撮ってくること
- 上野の西郷隆盛像を撮ってくること
- 品川プリンスホテルの1階「エプソン・アクアスタジアム」の外観を写真に撮ること

第3学年企画

5月2日 キャリア教育の日

電車でGO!

- [内容] 1 グループごとに**設定された場所に指定された時間までに到着しチェックを受け**, 指定された時間に千葉駅で**14:30~15:30の間にチェックを受ける**。
- 2 乗換駅では,必ず写真を撮ること。
- 3 都内のチェックポイントでは,それぞれの先生から「指令」を受け,指示に従う。
- 4 カメラを持参のこと(携帯写メもOK。ただしいずれの場合も後日プリントアウトして提出)

[注意事項]

- 1 必ずグループごとに行動すること。
- 2 別紙の「行動計画」を事前に提出し,アドバイスをもらうこと。
- 3 指定された時間には余裕を持って着くことを心がけるが,あまりに早い出発など無理をしないこと。到着が遅れそうな場合には必ず学校に連絡すること。
- 4 緊急の際には「行動計画」の緊急連絡先,学校等に速やかに連絡すること。
- 5 千葉駅でチェックを受けた後の帰りの電車は,次の時間のものより遅くなってはいけない。

成東回り 15:42

佐原回り 15:49

- 6 社会の一員として,常識ある態度で参加すること。
- 7 遊びではなく,あくまでも教育の一環であることを自覚すること。

[指定場所一覧] () は担当の先生(指定時間は後日指示する)

*勝手に選ぶのではなく、各クラス担任の指示で決定する。

- 早稲田大学大隈講堂前
- 羽田空港
- 銀座鳩居堂前
- 浅草寺雷門
- 泉岳寺
- 上野西郷銅像前
- 江戸東京博物館前
- 東京大学赤門前

千葉駅中央コンコース(改札を出ないこと)**14:30~15:30 の間に必ずチェックを受ける。**

電車でGO！ 行動計画書

| | 氏名 | 携帯電話番号 |
|----|----|--------|
| 班長 | | |
| 班員 | | |
| 〃 | | |
| 〃 | | |
| 〃 | | |
| 〃 | | |
| 〃 | | |
| 〃 | | |

指定場所及び指定時間

| |
|--|
| |
|--|

ルートと時間

| |
|--|
| |
|--|

緊急連絡先

多古高等学校 ○○○○-△△-□□□□

高校 3 年 情報科学習指導案

1. 単元名 「非接触 IC 技術から学ぶユビキタス社会」

2. 単元について

この授業では、近い将来生徒たちが日常的に利用するであろう「非接触 IC」を入り口とし、どのような状況に置かれている生徒もユビキタス社会を有効に活用できるよう、その状況や原理を理解させ、自分たちの生活にどう取り入れられているのかを伝えていく。高等学校学習指導要領が言う「調べたり、討議したりする学習を取り入れるようにする」という点を重視し、生徒たち自身がユビキタス社会の「光と影」を意識しつつ意欲的に参画できる態度を養うことを目指す。

昨今、身分証や電子マネーに非接触 IC 技術が搭載されつつある。こうした目に見える身近な題材を用いることは、ユビキタス・ネットワークの発展を理解していくためにふさわしい。身近なところにもユビキタス・ネットワークが入り込んでいることから、生徒自身にもユビキタス・ネットワークを利用できることを実感させ、生徒とユビキタス社会を結びつけていきたい。

3. 単元のねらい

非接触 IC 技術について理解しながら、新しい活用法を班のメンバーや講師とコミュニケーションをとりながら協力・協働して考えていくことができるようになる。

企業の方から非接触 IC カードがどのように社会に役立っているのか話を伺うことで、働くことの意義や役割を理解し、これまであまり知ることがなかった技術開発の仕事についての理解を深めることができる。

また、企業の方の仕事内容や努力、思いを知ることで、夢や希望を持って将来のことを考えていくことができる。

4. 指導計画

| | 主な活動内容 | 時配 | 育成が期待できる能力 | | | |
|----|--|----|------------|------|------|------|
| | | | 人間関係形成 | 情報活用 | 将来設計 | 意思決定 |
| 事前 | 非接触 IC カードの仕組みや現在どのように使われているのかを学ぶ。 | 1 | ○ | ◎ | ○ | |
| 本時 | どういった環境で使用されているのか、地域で非接触 IC カードが使用されている様子をビデオで視聴する。非接触 IC カードの仕組みを理解した上で新しい活用法を生徒が考える。 | 1 | ◎ | ○ | ○ | |
| 事後 | 生徒たちが考えた新しい活用法について講師の方からコメントをいただくことで、自分たちのアイデアが現在の社会ではどのように受け入れられているのか理解を深める。 | 1 | ○ | | ◎ | ○ |

5. 本時の指導（2／3）

（1）本時のねらい

非接触 IC という専門技術について学ぶとともに、他者との意見交換を通して相互理解を深める。

（2）展開

| 過程 | 時配 | 学習内容と活動 | 指導上の留意点 |
|-----|-----|---|---|
| 導入 | 5分 | ・講師の紹介をする。 | ・授業はTTによりかけ合い型の展開にしていく。 |
| 展開 | 35分 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の全体像を把握する。 おサイフケータイやSuicaなど新しいこのシステムは一体どのようなものなのか、その機能と社会への影響を考える。 ・非接触型 IC カードとは何かを知る。 どのような技術が使われているのか考える。 ・「非接触型 IC 技術」を簡単に説明するビデオを視聴する。 【内容】 ・ 接触／非接触の違い ・ コイルと IC のまとめ ・ システム全体のイメージ ・ 講師の方からビデオの復習と接触・非接触の違いやメリットを聞く。 ・ 非接触 IC の原理を知る実験を行い、班で協力して新しい活用法を考える。 (リーダーをアルミで覆っても反応するか等) | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に具体的に提示しながら展開する。 【情報活用能力】 ・使い方から技術を考えることで、抵抗感をなくすようにする。 【情報活用能力】 ・技術について詳しい生徒がいれば知識を引き出す。 ・現物提示 (コイルやリーダーライターの構造がわかるもの) ・生徒実験 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し受け入れる。 【人間関係形成能力】 |
| まとめ | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい活用方法を発表し合い、意見を出し合い、理解を深めることにより実験のまとめをする。 ・講師の方からセキュリティ・通信方式について聞く（メッセージ等） | <ul style="list-style-type: none"> ・実際の製品として利用されているしくみをわかりやすく伝えていく。 ・企業の仕事内容や努力を自分の姿と照らし合せ、今取り組むべき学習や活動を理解する。 【将来設計能力】 ・本時のまとめと次回予告をする。 |

【資料1】生徒が考えた、フェリカの新しい利用法（一部抜粋）

（発表の内容：①どんな場所で ②こんなサービス ③そのメリットは）

①銀行 ②カードで暗証番号を読み取る ③強盗から守られる。暗証番号を覚えなくていい銀行。これは今まさに銀行が望んでいることです。銀行と言ってもインターネットで決済す

る人がいますよね。既にこういう（実物を見せる）インターネットの決済用のリーダーライターっていうのがでてくるんです。これは暗証番号を打たなくていいんです。向こうに着いた瞬間にこれは誰からきたいくらの金額だってわかる仕掛けがあって、無線で流れている間を途中で盗み見られても何の心配もないんです。

①学校の購買 ②ポイントがたまって商品と交換できる ③並ぶ人が少なくなって売っている人も楽になる

学校の購買、いいポイントですね。大学では既に実施しているところが多くて、エディ対応の学生証で、学生証でありながらモノの購入ができる。こういうところは自動販売機使う時に、カード使ったら20円とか30円とか値引きするんですよ。何でだと思います？小銭の入れ替えが手間なわけですよ。お店にとって。あと、学校だとどうかかわからないけど、街だと自動販売機の小銭荒らしている人がいるんですね。でもお金が入ってないからそういう被害がなくなるわけですよ。だから、みなさんにエディを使っていたきたいから10円、20円安くする、ということらしいですよ。

①病院 ②診察券や電子マネーなどをかねたサービス ③診察券や処方箋，料金などがカード1枚で済む

病院もそうですね。病院ではすでに入っているところもあります。ただ、ICカードってすごい便利なんですけどいろんな制度とか法律とか、そういうものがついていってない感じがしますね。診察券はいいんですが、処方箋となるとちょっと難しいのかなと思います。

①ガソリンスタンド ②カードでお会計 ③ポイントがたまりお会計がスムーズになる。つり銭間違えがなくなる

ガソリンスタンド。これは実現してます。ガソリンスタンドっていうのはお金の受け渡しで以外と時間かかるんですよ。お店にとってもピッと済むし、お客さんにとってもつり銭を渡されなくて済むし、いいのかな、と。ポイントがたまる仕組みっていうのももうできています。

【資料2】講師の方からのメッセージ

ICカードってまさにばら色なモノとしてみなさんに見えると思います。ですが当然この成功例の影には失敗例はいっぱいあるわけですよ。目新しさだけを求めて、ICカード導入すればいいやっていう事業者さんがいくついらっしゃいます。導入することによってどういうメリットが事業者さんとお客さんそれぞれにあるか、それを明確化したプランニングをしないことには成功しないと思います。どんな画期的な発明をする人が一人いたとしても、それだけではビジネスは成り立たないんです。常に何十人っていうプロジェクトチームで持って、1つの商品というのは成り立つんです。発明者が1人いたとしても、それを支えるエレキのエンジニアもいるし、メカの発明者もいるし、ソフトウェアの発明者もいる。私の仕事は行政とやりとりをして、どうやってこれを妨げる法律とかそういうものをクリアしていくかを考えることです。学生のときに自分の好奇心でいろいろ動いたことが役に立っているのかなと思います。

千葉県立袖ヶ浦高等学校
協力企業：ソニー株式会社

★本文内の資料については、NPO法人企業教育研究会にお問い合わせください。

(Tel) 043-308-7229 (E-Mail) info@ace-npo.org